

## 宮代町立図書館協議会 指定管理業務

## 令和4年度 期末モニタリング用 図書館協議会アンケート（全体集計）

## 第2次図書館ビジョン

## 1. 利用しやすさ（利便性）の向上

- ア 開館時間の見直し（★）
- イ 館外サービスの充実（★）
- ウ 資料検索、リクエスト、貸出サービス等の改善・充実（★）
- エ 開館（休館）日の見直しの検討

※（★）：特に重点的に取り組むべき課題（第2次図書館ビジョン）。以下同じ。

■評価 良好 6票 ・ 概ね良好 3票 ・ 努力（改善）を望む 1票

## ■理由・ご意見等

- 館外サービスについて、和戸地区検討中とのことですが可能な限り実施してほしいです。
- 開館時間が9時30分になったこと、ブックポストの設置場所など、だいぶ周知されてきたので、良かったと思います。和戸地区のブックポスト設置のご検討をお願い致します。
- 電子書籍の利用促進のためのPRを積極的に行って頂けたらと思います。限られた予算の中での雑誌購入になりますので、雑誌のバックナンバーの相互貸借が可能であることを利用者に知らせて頂きたいです。
- 開館時間やサービス面（催事等）は他の図書館に比べて良好と思います。
- 入館者数の割合が、対前年度比で4月から1月まですべての月で上回ったのは、素晴らしい成果だと捉えました。利用しやすさの向上に努めた結果と捉えることができるのではないのでしょうか。
- ウ.貸出サービス等の改善・充実  
先日自分の借りていた本を友人に薦めた結果、一緒にカウンターに行き、返却手続きと貸出（友人）手続きを同時にお願ひしました。時間がかかる様なことを言われましたが、すぐに手続きをすることができました。（友人が借りることはできました）基本的にはどのくらいの時間が必要か決まっているのでしょうか。
- 休館日が月曜日固定となっているが、働く世代で特に接客業や床屋さんなどは、月曜日を休みとしている会社が多い。  
業種によっては火曜日（飲食業）や水曜日（不動産業）が定休日の会社もあり、休館日の固定曜日を変更する必要はないかもしれないが、例えば月初のみ、月末のみ月曜日を開館変わりに別の曜日を休館とするなど対策はできると思う。  
草加市の図書館は火曜日が休館日となっているようなので、まずは働く世代への意見を集めてみると良いかもしれない。
- 開館時間は曜日により変えて良いと思います。

○未利用者対策「必要とされる図書館」へ前進を

イ. 館外サービスの充実について

- ・公共施設・事業所との連携により、電話やネットで受け付けた貸し出しを受け取れるシステムを作る＝返却ポストだけでなく、館外借り受け出来る。
- ・図書館を知らない、利用したことがないという人が転入者に多いことをブックスタート（乳幼児4か月検診時実施してるサービス）をお手伝いして知った。

→転入手続き窓口や住居近くの公共施設で「図書館案内」「図書カード申込」と共に図書館の利便性をアピールする（多彩な行事企画/雑誌・実用書含む豊富な蔵書/当館になくても広域連携で他館から借り受け出来る/貸出し本消毒機器設備）具体的内容を記したプリントを配布する。

- ・館外サービスの前提として図書館を知って貰う、親しみを持って貰う事が大事ではないでしょうか。

第2次図書館ビジョン

2. レファレンスサービスの充実と利用促進

ア 相談窓口（スタッフ）の設置（★）

イ 利用の促進（★）

■評価 良好 5票 ・ 概ね良好 4票 ・ 努力（改善）を望む 1票

■理由・ご意見等

○窓口でスタッフの方々が手際よくニーズに答えている様子を見てとても頼もしく思います。より一層充実していきますよう祈っています。

○問題や滞りがなく機能していると思ったから。

○イ. 利用の促進について

「レファレンスサービスとは何か」が利用者に知られていないのではないかと思います。利用者に周知することが大事だと思います。

○来年度は宮代町立図書館でどんなレファレンス事例があったのか報告して頂けるといいですね。最近久喜市立図書館が国立国会図書館のレファレンス共同データベースの参加館になったようです。宮代町立図書館も参加館になって、年に何回かでも良いですからレファレンス事例を報告できるように努力してください。また、利用者にレファレンス共同データベースのことを知ってもらえるよう、展示なりお知らせなどを活用して頂けたらと思います。

○気軽に立ち寄れるコーナー環境設定

イ. 利用の促進について

図書館は「本を借りる所」「勉強する机がある所」と認識している人がまだかなり多い。図書館の役割の大きなひとつレファレンスサービスを知らないのは「レファレンス」の意味が解らないからかもしれない。

→名称を「相談・調査〈何でも相談・調べものお手伝いします〉コーナー」とか、親しみ易く近寄り易い表示を掲げる。

○いずれも前年度比で、入館者数がすべての月で増加したのにも関わらず、貸出者数が減少した月が多いようです。気軽に立ち寄れるという点で向上した半面、貸出者が減ったことの原因は何であるのか考察する必要があると思いました。

一方で、資料貸出は前年度比を見ますとほぼ同様の結果であったので、

- ・気軽に立ち寄る人は増加した
- ・資料を借りに来館した人、その利用状況は変わらない

とも捉えることができますので、全体として良好な方向に進んでいるのではないかと感じました。

## 第2次図書館ビジョン

### 3. 利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集

- ア 多様な情報資料の蓄積と提供 (★)
- イ 電子(デジタル)資料の充実と利用促進 (★)

■ 評価 良好 2票 ・ 概ね良好 6票 ・ 努力(改善)を望む 0票

#### ■理由・ご意見等

○これからは電子書籍がますます普及してくると思われまので、利用者のニーズに答えられるよう研鑽を重ねていかれますよう期待したいと思います。

○郷土資料館との取り組みは今後も積極的に続けて頂けたらと思います。

○利用促進の為の具体的な対策を

ア. 多様な情報資料の蓄積と提供について

利用者ニーズに対応といっても資料収集に際して〈偏らず・迎合せず〉の原則を堅持して頂いた上で当館なりの理念に基づいての選定をされてよいと思います。(3回協議会で出た雑誌選定についての議論で思った私見です)

イ. 電子(デジタル)資料の充実と利用促進について

1万冊以上のデジタル資料蓄積・充実は評価。

令和3年度利用者アンケートで「HP見ない」人が56.1%、半数以上の人HPすら見ていないということは電子資料があること自体知られていない、利用者ニーズが低い現況。

→日工大生の協力を得て、スマホ等デジタル端末の相談コーナー〈年数回講習会とかではなく週1回くらい開く常設〉を設置する等、利用したくても出来ないという人たちへのサポート策を取る。

○電子資料の利用については、ほぼ前年どおりであったと感じました。私自身が語学テキストを電子書籍で購読していますが、やはり実際に使ってみると紙の本の良さも感じます。ただ、資源保護の観点等から、今後はますます充実の必要が高まる図書館の1つのサービスだと考えます。

○デジタル資料については、学校の授業等で使えるものがたくさんあるので、町内の学校で情報を共有して活用していきたいと思います。

○先日の協議会でも話題に挙げた通り、今後はデジタル図書の周知 PR と利用促進が課題となってくると思いました。

私も図書館協議委員を務めさせて頂いて初めてその存在を知りました。一度使ってみると非常に使いやすく、こんな便利なサービスがあったのかと驚きました。

ただそのサービスを知った上で、継続的に利用していると言われると、一度使ったきりのままとなってしまっています。

ホームページ（デジタル）上での URL を含めた周知活動を町の HP や広報、公式 LINE を含めて、積極的に行っていく必要があると思いました。

日常的に目に触れなければ、結局、継続利用にもつながらず忘れていってしまうと思いますので。

## 第2次図書館ビジョン

### 4. 高齢者、障がい者向けサービスの充実

ア 高齢者向けサービスの充実（★）

イ きまざまな障がいに対応したサービスの充実（★）

ウ 来館が困難な障がい者や高齢者向けサービスの実施（★）

■ 評価 良好 4票 ・ 概ね良好 5票 ・ 努力（改善）を望む 1票

#### ■理由・ご意見等

○ここでは何といってもバリアフリーです。全ての場所をバリアフリーにすることはできませんが、できることからバリアフリーをどんどん実施してほしいです。

○よみうり回想サロンの中で、参加者同士でのお話ができるといいなと思います。

○バリアフリー映画会について、このコロナ禍での実施は、人混みの中へ行くことがなくて良かったと思います。

○私の知見の範囲では、問題や滞りがなく機能していると思ったから。

○館外個人貸し出しシステムの構築を早急に

ア. 高齢者向けサービスの充実について

高齢者向け行事（回想サロン、バリアフリー映画会）をコロナ禍残る中実施されたことは評価

ウ. 来館が困難な障がい者や高齢者向けサービスの実施について

団体貸し出しについて学校はともかく、どの位利用されているのか、また貸出先を増やすことによるリスク、しわ寄せはないのか知りたい。

図書館の位置的に車・自転車での来館者が多いということから、高齢化による来館困難者増が見込まれる。

→分館・移動図書館車を望むより、館外個人貸し出しシステムの方が有効なサービスと考える。喫緊の施策を望む。

○今年の2月に「知的障害者への代読ボランティア養成講座テキスト」という小冊子が出ました。市販はされていませんが、樹村房という出版社のホームページにアクセスして頂き、サポートという所を開いて頂くと一番下に「知的障害者への代読ボランティア養成講座テキスト」というのがあり、テキストをPDFで見ることができます。一度目を通して頂けると幸いです。

私は4章を書きましたが、3章の知的障害者との関わり方という部分がとても良いので、是非読んで頂きたいと思います。あかりなど障害者の方が働いている施設に出向いて代読したり、貸し出しするなどのサービスを検討して下さい。

伊藤忠財団が10年ほど前から作成している、わいわい文庫というマルチメディアDAISY図書（児童書や絵本の画像と音声とテキストが同期して見られる資料）がかなりの数になっています。申請すれば寄贈してもらえるのではないかと思います。見られるのは著作権法37条第3項で認められた人のみですが、障害児施設などで活用できると思います。

○高齢者、障がい者の御当人へ、提供しているサービスの周知が大切です。それ以上に、周りにいる方々への周知が大切だと思われれます。

## 第2次図書館ビジョン

### 5. 子供の読書活動の推進と小中学校との連携

- ア ボランティアとの連携による魅力ある行事の継続開催（★）
- イ 乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進（読書による子育て支援）（★）
- ウ 児童や青少年（ヤングアダルト）の読書活動の促進、図書館利用につながる行事等の継続開催（★）
- エ 小・中学校との連携（支援）（★）

■評価 良好 6票 ・ 概ね良好 3票 ・ 努力（改善）を望む 1票

#### ■理由・ご意見等

○乳幼児が遊べるコーナー（キッズルーム・コーナー）があると親も少し読書ができると思います。

○学校図書館に毎週来ていただいているおかげで、とても助かっています。図書館から配られる児童向けの行事も魅力的なものが多く、配布すると、興味深く見ている子がたくさんいました。

○子どもたちのために色々な活動をありがとうございます。

- ア. ボランティアとの連携による魅力ある行事の継続開催について  
お話会のボランティアをしています、そのための勉強会等で協力いただいています。研修室、ホールを有効に使用させていただいて感謝しています。
- 現在宮代町社会福祉協議会にすてっぷ宮代活動チームとして活動しているボランティアが 50 団体ほどあります。これらのひとつひとつと連携していくことは困難ではありますが、できるだけ繋がって、子どもたちの将来のためになるよう図書館の役割を期待します。
- 最近『講座図書館情報学 第7巻 児童サービス論 地域とつながる公共図書館の役割』（伊香佐和子、塚原博編著 ミネルヴァ書房）が刊行されました。宮代図書館ではこのシリーズを購入していませんが、学校図書館等でボランティアをしている方やお話会をしてくださっている方に読んで頂けたらと思いますので、蔵書にし、PR していただけたらと思います。（私も 1 章担当しています）
- ア、イ、ウ、エ全てで、各種行事開催やサービスを継続して読書活動推進に貢献、図書館利用につなげている実績大きいと思います。  
ただ、宮代に限ったことではありませんが、中高生の利用促進につながる効果的方策はないもののでしょうか。学校との連携で模索していきたいですね。
- 本を読む習慣は一生の財産になります。中学校に勤務していますが、小学校に比べて貸出数が多くない現状があります。本が好きで好きでたまらない、そんな子どもの育成と一緒に取り組めたらと思います。
- 本好きな子を増やすことはもちろん大事だが、さらに書籍から情報を実践に生かせるような子どもたちの知的好奇心を育みながら、その実践をサポートしていける活動も図書館単独ではなく学校や様々な地域社会の人たちと連携して進めていけると良いなと思いました。

例えば運動部でサッカーや野球をやっている子なら、その競技のコーチの本を読んでさらに技術を学んで、自分で工夫して練習を進めていけるような（他にも音楽、美術、工作、IT など）そんな体験をしていってもらえると本好きな子だけでなく、本が苦手、勉強が嫌いと思っている子でも身近な施設にもなるし、子どもたちと本との距離が近づいていくと思いました。

第2次図書館ビジョン

6. 地域に根差し、住民・利用者とともに育む図書館運営

- ア 専門的職員の配置と育成 (★)
- イ 住民や利用者の交流と図書館運営への参画 (★)
- ウ 情報の公開と発信の強化 (★)

■評価 良好 3票 ・ 概ね良好 7票 ・ 努力(改善)を望む 0票

■理由・ご意見等

- 年に4回(春・夏・秋・冬)東武動物公園の職員から動物に関する講演ができないでしょうか。子どもたちはもとより、大人も動物は大好きです。図書館主催のイベントもなかなかのものだと思います。無理なら2回でも充分です。子どもたちも喜んで、時間があつという間に過ぎていくことでしょう。
  
- 現在、図書館に協力して下さっている方は、大半が児童サービス関係の事業の方々ですが、例えば先に書きました知的障害者への代読サービスですとか、高齢者関連のサービス(コロナの終息には今少し時間がかかりそうですが)、毎月の図書館のお知らせ作成等々、積極的に図書館サービスにかかわってもらえるような講座なり講習をして頂けたらと思います。
  
- 私の知見の範囲では、問題や滞りがなく機能していると思ったから。情報発信については、図書館で行われている開架図書企画などを図書館独自のinstagramやtwitterで発信していくなどして、リアルとネット両方から周知を進めて行くことはできないか?ネットでの発信が上手く回り出せば、デジタル図書の本を紹介し易くなるなど、利用促進につながると思います。
  
- 年に一度くらい、官報(月間みやしろ)に図書館特集を掲載してみる。
  
- イ. 住民や利用者の交流と図書館運営への参画について  
認知症合同展の開催、時代に即した企画秀逸また定例とはいえ住民との交流企画多数をしっかりと実施された努力を評価します。が、館からの提供がほとんどで「ともに育む」の部分が不足している感があります。  
→運営への参画としての企画いくつか紹介  
・常設ビブリオコーナー(仮称「わたしのおすすめ本」)  
・誰も借りてくれない本フェア(「読んでみない?貸出ゼロの本たち」)  
・書庫見学会(「どんな本があるのか探隊」)
  
- いかに住民、利用者の要望を拾い上げ、それを運営に活かしていくかだと思います。地域住民、利用者に対して図書館が発信する、そしてその2者から考えを受け止める、この2方向のやりとりが上手に機能すれば、さらに地域に深く根差ししていくと思われれます。

第2次図書館ビジョン

7. 施設の適切な維持改善と快適な利用環境づくり

- ア 施設、設備の改修 (★)
- イ 既存施設の活用、改修等による飲食、交流スペースの創造 (★)
- ウ 閲覧、学習スペースの充実 (★)

■ 評価 良好 5票 ・ 概ね良好 3票 ・ 努力(改善)を望む 0票

■ 理由・ご意見等

- 現在、飲食の場合、水やお茶のボトルは椅子の下に置いていますが、できれば机を置いて、机の上で飲食ができるようにしてほしいと思います。今のスペースのところに長机を3つか4つ置けば充分です。
- 老朽化一途の施設・設備の維持管理はご苦労も多いと思われませんが、常に整美、清潔さを保たれている事に感謝しています。館内案内図について、図書館初心者(ドキドキで入館してます)や子どもたち、高齢者にも解りやすい大きさ、ポップなデザインを入口近く、すぐ目につく所に掲示してほしい。
- 私の知見の範囲では、問題や滞りがなく機能していると思ったから。
- 乳幼児連れの方の為、授乳室の改善がされることを期待します。
- 中高生の学習スペースは完全分離にした方が良いと思います。
- 夏休み、春休みなど研修室を学習室として開放されるといいですね。
- 学校の長期休業中は、子どもたちが学習できるようにスペースを用意していただいているようで、とてもありがたい対応だと思います。子どもの居場所が家庭と学校以外に地域にあることは、さまざまな面でとても重要です。

その他(ご意見等)

- 清水館長を中心にスタッフの皆さん、本当によく仕事に従事している様子を見えています。私達は皆、図書館のますますの充実を期待しています。健康に充分気を付けてご活躍ください。
- スタッフの方、いつもより良い図書館作りをして頂きありがとうございます。



○官から民に移行して、時間や催事の面で大幅なサービス改善がされたと思います。司書さんの労働時間を考えたら、冬時間は6時半で終了にして良いと思います。

○コロナ対策も緩和されてきたので、利用時間の制限なく、利用できるというと思います。

○モニタリング資料として昨年はあった蔵書統計（受払・保管場所のみで可）今年も欲しかった。

・運営の基本、利用者増を目指すとき、図書館は身近で気軽に利用できる場所であると認めて貰うことが肝要。その為に

→図書館用語、カタカナ表現が親しみ易さを減じている（とっつきにくい、お高く留まっている感）例・レファレンス→相談・調査/ビブリオバトル→おすすめ本推薦合戦/資料→本、雑誌CD、DVD/開架→書棚/デジタルコンテンツ→電子書籍など誰にでも解りやすい表現掲示を心掛けたい。

・図書館を利用したことのない人、したくない人の理由

- 1, 元来本を読まない
  - 2, 他人の触った本は衛生的に嫌
  - 3, 近くにないので利用出来ない
  - 4, 子どもが騒ぐので連れていけない
  - 5, 欲しい本がない、新刊本はすぐ借りられない
- 等に対応するには・・・

1, いろいろな年代向けの行事企画があります。本好きの人だけの場所ではありません。読みもの以外実用書・雑誌・写真・美術多様な蔵書があります。

2, 貸出し本消毒機器備えられています

3, 館外サービスで対応します

4, 子ども連れOK 赤ちゃんタイム

5, リクエストに応じて当館になくても広域連携で他館から借り受け出来ます

図書館について具体的な内容を啓蒙、アピールする手立てを考える。

○CDの盗難について

CDが盗まれているとの事で本棚から撤去されています。いつまでこの状態が続くのでしょうか。それともCD自体を置くことを辞めてしまうのでしょうか。CDを選ぶ楽しみが無くなってしまい淋しい限りです。

○4月23日と6月25日の新しい村での「絵本であそぼう」には図書館が関わっていましたか。リサイクル用の絵本などを活用した取り組みができると良いですね。何かお手伝いできることがありましたらやりますので、どんなことでも声をかけて頂ければと思っています。